

令和3年7月8日

市内各小中学校保護者 様

須坂市校長会

児童生徒の一人一台端末の持ち帰りについて 心配なこと、不安なこと

1 端末を破損してしまった場合は？

→破損の原因が故意でない場合は、市の負担で修理をします。

破損の状況にもよりますが、修理が終わって手元に届くまでに4～6週間くらいかかりますので、丁寧に使用して下さい。故意の破損の場合にはおよそ50,000円を負担していただきます。

2 充電ケーブルが破損してしまった場合は？

→端末の破損と同様に、破損の原因が故意でない場合は、市の負担で修理または交換いたします。

修理が終わった物、または新しい物が学校に届くまで小学生用のケーブルで1週間くらい、中学生用のコードで5週間ほどかかります。故意の破損の場合には小学生用で1,000円ほど、中学生用で3,500円ほどを負担していただきます。

3 保護者が端末の使い方が分からなくて心配。(特に小学校低学年)

→参観日などで保護者が実際に使用してみる学校もあります。お子さんの通っている学校に相談してみてください。

4 外部サイトからダウンロードしてしまわないか心配。

→管理者権限で、個人で外部サイトからのダウンロードは出来ないようになっています。

5 学習以外に使用してしまいそうで不安。(遊びに使ったり、インターネットを見すぎたりしていないか心配)

→全ての端末にフィルタリングをかけてあります。

学習用途以外のインターネットアクセスや、出会い、会員制交流サイト(SNS)など、犯罪に巻き込まれる可能性のあるサイトへのアクセスはブロックしてあります。またショッピングサイトや自殺サイトなどに対してもフィルタリングをかけてあります。インターネット接続の時間帯も制約でき、持ち帰りの初期の段階では「夜10時～翌朝6時まではインターネットに接続できない」といった制御を行います。

動画の閲覧も制限してありますが、フィルタリング機能については、定期的の実態調査を行い、見直しを進めて参ります。

6 パスコードの管理はどうなっていますか？

→個人で設定を変えることはできないようになっています。

7 家庭で Wi-Fi 環境がない場合は？

→全児童・生徒用に全公民館共有の統一された Wi-Fi 用 SSID 及び暗号化キーを発行しますので、公民館に行くだけで、自動的に Wi-Fi につながります。(夏休みには接続できる予定です)

8 健康面での心配 (メディア漬け)、使用時間、ゲームや動画視聴とのけじめ、ネットトラブルの心配

→「保護者向けリーフレット 正しい電子メディア機器の使い方を子どもと一緒に考えましょう！

(長野県教育委員会 長野県将来世代応援県民会議)」に詳しく書かれています。親子で読み家庭でのルールを作成をお願いします。

親子でルールをつくってみましょう！
～ 親が子どもの良い手本となって～

ルールづくりのポイントは、「親が決めた一方的な約束」ではなく、「親子で一緒に正しい使い方を考えるツール」という考え方でつくることです。実現不可能なルールであればよいと見え、子どもと親の気持ちの合意の上で発達年齢に合ったルールを探ることです。ルールは、子ども自身の言葉で、子ども自身が考えた方法でつくりましょう。

ルールづくりの基本

トラブルを事前にしっかり話し合う

子どもが納得し「守れそう」と思えるルールをつくるのが大切です。子ども自身の言葉で話ができるとういでしょう。

◎考へてください

「もし守れないときはどうするか」を考へる

親の考へではなく、子ども自身が考へられるとういでしょう。

随時見直しをしましょう

発達年齢に応じて利用の状況も変化しますので、親子で常に意識していくのがよいでしょう。柔軟な対応が必要な場合も出てきます。

家庭のルールの例	
使用時間	<input type="checkbox"/> ゲームや動画視聴などの利用は、 平日 (時 分) まで [時間 分] 休日 (時 分) まで [時間 分] とする。 ※休日も平日と同じ生活リズムで過ごすのが理想的です。
課金	<input type="checkbox"/> 課金は月 () 円までとし、毎回親に相談する。
マナー	<input type="checkbox"/> 「ながらスマホ」(歩きながら、食べながらなど) はしない。 【情報発信にあたって】
リテラシー	<input type="checkbox"/> ネット上の情報がすべて正しいわけではないので、誤った情報や疑わしい情報に惑わされない。 <input type="checkbox"/> 違法の動画サイトやゲームサイトなど怪しいものには近づかない。 【情報発信にあたって】
モラル	<input type="checkbox"/> 自分はもちろん、家族や友だちなどの個人情報に関する書き込みはしない。 <input type="checkbox"/> 他人が写った写真や他人の作品などの情報を発信する際は、あらかじめその人の許可を得る。 <input type="checkbox"/> 他人を誹謗中傷したり、差別したり、侮辱したりしない。 <input type="checkbox"/> 他人になりすまして情報発信をしない。 <input type="checkbox"/> ネットで知り合った人とは会わない。 <input type="checkbox"/> 会う約束のある場合は、必ず親に相談する。
その他	

「保護者向けリーフレットより」

トラブルについて知り、親子で安全な使い方を考えましょう

トラブルの事例を知りましょう

ネットいじめ

学校の友だちとオンラインゲームをしていた小学生のAさんは、ゲームの最中にミスをした友だちにボイスチャットで「死ぬ」「殺す」と書いてしまいました。数日後、Aさんには嫌がらせのラインが夜中まで来て、ライン外しにありました。学校では今でも友だちから隔離されています。

個人情報の漏洩

運動部に所属している中学生のBさんは、一生懸命練習をしているのですが、なかなか試合に出してもらえません。納得がいかないBさんは、SNSに監督の写真などの個人情報とともに、不満の言葉を書き込みました。これはまたたく間に拡散し、発言元がBさんであることも特定されてしまいました。

【参考】子どもの意識

■小学生 ■中学生

項目	小学生 (%)	中学生 (%)
オンラインゲームのボイスチャットでいやな思いをした(けんかや脅し)	6.7%	4.9%
動画や写真を投稿するときにオンラインやメールが来て困った	4.1%	12.0%
動画や写真を投稿するようになった	2.4%	7.6%
動画や写真がアップされていやな思いをした	0.8%	5.1%